

提 言 書

令和3年7月

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会

●会 長	
池田洋光(中土佐町長)	
●副会長	
横山幾夫(安芸市長)	
中平正宏(四万十市長)	
小田保行(越知町長)	
●会 員	
岡崎 誠也 (高知市長)	溝渕 孝 (芸西村長)
植田 壯一郎 (室戸市長)	細川 博司 (本山町長)
平山 耕三 (南国市長)	大石 雅夫 (大豊町長)
板原 啓文 (土佐市長)	和田 守也 (土佐町長)
楠瀬 耕作 (須崎市長)	和田 知士 (大川村長)
中平 富宏 (宿毛市長)	池田 牧子 (いの町長)
泥谷 光信 (土佐清水市長)	大石 弘秋 (仁淀川町長)
清藤 真司 (香南市長)	堀見 和道 (佐川町長)
法光院 晶一 (香美市長)	吉田 尚人 (梶原町長)
松延 宏幸 (東洋町長)	戸梶 眞幸 (日高村長)
竹崎 和伸 (奈半利町長)	池田 三男 (津野町長)
常石 博高 (田野町長)	中尾 博憲 (四万十町長)
黒岩 之浩 (安田町長)	岡田 順一 (大月町長)
上村 誠 (北川村長)	田野 正利 (三原村長)
山崎 出 (馬路村長)	松本 敏郎 (黒潮町長)

提 言 書

高知県内の各地域では、気候変動の影響により激甚化、頻発化する自然災害や、発生切迫度が高まる南海トラフ地震への備えを高めるため、インフラの整備に加え、庁舎の高台移転など、住民の命を守りつなげるための取り組みを強化しています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、深刻な状況に陥っている地域経済を復興させ、さらに、コロナとともに生きる新たな社会の構築に向けて、観光の再生や県産食材の消費回復などに全力で取り組んでいます。

道路整備においては、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に引き続き、昨年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算を活用し、高規格道路のミッシングリンクの解消や法面对策、老朽化対策などによる道路ネットワークの機能強化を推進しています。

しかしながら、山間部を多く有する本県には、異常気象時通行規制区間や防災上危険箇所が多数存在するため、これらを前倒しで解消していくとともに、老朽化対策の予防保全への転換を図り、将来的な修繕費の縮減を図ることが急務となっています。

また、先月28日に、千葉県八街市において下校途中の小学生の列にトラックが突入し、児童5人が死傷するという痛ましい事故が発生しました。日本の将来を担う若い命が絶たれることはあってはならないことで、早急の対策が求められます。

国土強靱化の取り組みを着実に進め、地域の安全・安心な暮らしや経済を支え、地方創生を強力に進めていくとともに、地域の取り組みと道路整備によってもたらされる効果を早期に発現させ、先々にわたり確実なものとし、ポストコロナ時代の「新たな日常」を実現させるため、以下の4項目を提言します。

一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化

- ・四国横断自動車道（宿毛～内海）、阿南安芸自動車道（奈半利～安芸）

一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の当初予算における安定的な確保

一、南海トラフ地震対策及び通学路等の交通安全対策に必要な予算の確保

一、橋梁等、道路施設の予防保全への転換に必要な技術的支援及び予算の確保

令和3年7月15日

道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会 会長 池田 洋光